



商工業者の「町づくり」等を テーマとした座談会開催は

石原武志 議員

町長 実施に向け商工会と
連携・相談していく



問 今年も町政座談会が開催された。特徴的な事や多くあった要望は。

答 若者・女性の出席を得られ、この町で今後活躍していくための手段など活発な意見が出た事や、共に考えることができた事が印象にある。身近な道路、河川の改修や小学校等の改築などの要望や消防団員不足、後継者不足に対する意見が多くあった。

問 自治会には意見や要望を述べる町政座談会という機会があるが、同様に町経済の底支えをする商工業者にそういった機会を作ることはできないか。

答 町内の経済動向に詳しく有益な情報を持つ、

商工業者との特定な会合を持っていない。街づくり等のテーマで意見交換会を行うことは大変有意義と思う。

町を活性化するために商工会と連携を密にすることは不可欠であり、実施に向け相談する。

問 今回の自治会要望の中で町道や河川の改修要望数はどのくらいあったか。今後改修予定は。

答 松島建設課長
建設課担当で262項目の要望があり、全体の約7割を占める。国道・県道が51項目、町道改良が25項目、河川関係29項目、町道が77項目の修繕など多岐にわたるが、緊急性の高いところから現地を確認後対応していく。

問 地域の要望に対し繰上償還を減らしても対応する考えはないか。

答 限られた予算の中での対応だが優先順位を図りながら実施する。対応し切れない状況だ。

問 若者・女性の意見をどのように捉えるか。



要望が多い町道の修繕（布勢小学校前）

答 子育てに対する不安や要望、婦人会の加入促進、まちづくり活動の施設改修など貴重な意見や要望を得られた。

問 要望にも多くある小中学校の耐震化・統廃合を含み、将来どのような形になるか検討すべき時が来ていると思うが姿勢なり方向性は。

答 系原教育総務課長
小中学校の耐震化統廃合について平成19年に町学校再編基本計画委員会を設け、21年に答申を受

けて7年経過し、統廃合に関し質問を受けている。今後将来の統廃合も視野に建設計画を立てる必要がある。現在具体的な計画はないが諸条件を関連させ考えてみたい。

問 今後もこの町政座談会は継続していくのか。

答 若者・女性を含む多くの方に参加したとき、意見を聞くことは町づくりに対し重要な機会と認識している。自治会長連合会と検討し、参加しやすい座談会開催へ努める。